

STOP! 「秘密保護法」11.21大集会・ゲストスピーカーの訴え



●青井未帆さん 「これは大変な威嚇です」

統治する側にとって情報は権力です。秘密は秘密であるが故に重要なのです。この法律は、法によって処罰するという威嚇を狙っており、それに大変危機感を覚えます。普通の人にとって、逮捕や捜索、疑いをかけられるだけでも恐ろしいことで、なにも活動できなくなってしまいます。治安立法、軍機保護立法は予防の段階でどれほどうまくいくかというのが決め手。もし恣意的に運用されたらどうしたらいいか。ところがこの法案には、恣意的な運用を抑える仕組みが備わっていません。大変に恐ろしい法案だと憲法研究者として考えています。(学習院大学法務研究科教授)



●落合恵子さん 「こんな時代にしてはダメだ」

福島で苦しんでいる人の思いを置き去りにして、何が「完全ブロック」だ。どこまで民主主義をバカにして、一人一人の市民をバカにする政権なのか。私たちは知っている、権力は腐敗するもの。私たちは知っている、権力はいつだって情報を隠してきた。私たちは知っている、私たち一人一人の命よりも、違うものを守ろうとし、私たちの命は彼らの靴の下の小石ほどの重さもない。こんな時代を私たちはさらに深めていいのだろうか。そんな時代を作ってしまうと、次の世代、その次の世代に私たちはどう申し開きをしていくのか。これ以上イヤだ、もうこれ以上我慢しない。(作家)

秘密保護法でこんな社会に…

その実態は

お喋り弾圧法



情報かくし法



とことん秘密法



戦争遂行法



「平和委員会・平和新聞 11月9日号より」